

基本構想「わたしたちの望み（基本理念）」（案）

新たな第2次総合計画基本構想の「わたしたちの望み（基本理念）」は、

『やさしさとふれあいの西東京に暮らし、まちを楽しむ』

とします。

第1次基本構想では、基本理念を考えるにあたって、「わたしたちの西東京市に暮らしてまちを楽しんでいる人はどれだけいるのでしょうか？」と問いかけました。まちにはいろいろな「ひと・もの・こと」があり、つながりをもつことで、わたしたちは安心感を得て、元気に活動できると考えました。

人は、地域とのつながりによって、一人ひとりがいきいきと輝き、日々の生活やまちを楽しむことができます。まちを楽しむ気持ちや行動は、まちへの関心、誇り、愛する気持ちを生みます。そのような気持ちをもった人々が暮らすまちには、やさしさや思いやり、人と人とのコミュニケーションにあふれたふれあいが息づいています。

また、西東京市では豊かな「みどり」とのふれあいもあります。市の財産となるみどりの拠点は市民の憩いの場であり、人々はその豊かなみどりに癒され、やさしい気持ちになります。市民のみどりとのふれあいは、市の豊かなみどりの保全や新たなみどりの創出につながります。

このような思いから、第1次基本構想では、『やさしさとふれあいの西東京に暮らし、まちを楽しむ』をわたしたちの望みとして基本理念に掲げました。

新たな基本構想では、この望みをさらに広めていくことが大切だと考えています。

東日本大震災であらためて気づかされたのは地域の助けあいや支えあいの大切さです。地域において、人とのふれあいや絆を大切に、人も地域も活かし、活かされるしくみをつくっていくことが求められています。

この「人も地域も活かし、活かされるしくみ」をつくっていくためには、まちをより良くしたいという思いを市民が共有し、「一歩前に」踏み出すことが重要と考えます。

多くの人々が、まちを良くしていくこと、人のつながりを結ぶことに関心をもち、そのための「一歩前に」の行動をとって、まちを知り、まちづくりに参加することで、「人も地域も活かし、活かされるしくみ」が実現できます。それは、みんなでまちをつくる行動にほかなりません。

まちを楽しむことを享受しながら、まちづくりに積極的に参加し、まちを良くすることに関わることで、西東京市を「みんなでつくるまち」にしていけます。

このような考えから、『やさしさとふれあいの西東京に暮らし、まちを楽しむ』をわたしたちの望み（基本理念）として継承します。